**ジュニアライフセービング教室　指導案・記入例**

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** | **2024年8月1日　①9:00～11:00 ②13:00～15:00** |
| **場所** | **JLA ビーチ** |
| **対象/人数** | **小学生3～6年生 ①20名　②20名　計40名** |
| **指導者** | **波乗　太郎、　協会　花子** |
| **JLAのねらい** | **水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解かたの命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成をめざす。** |
| **クラブのねらい** | **自然（砂浜・波打ち際・海中）の中で、人（参加者・保護者・指導者）と関わりあいながら心を開放し、お互いを認め合い、命の大切さと水辺の安全について学ぶ。** |
| **使用器材・****教具** | **ニッパーボード5本、レスキューチューブ2本、津波フラッグ1枚、ハザードマップ1枚、ライフジャケット10着、ライフセービングかるた１**クラブの創意人との関わり合い |
| **展開** | **＊活動内容と指導上のポイント（〇）を記入**命の大切さ楽しさ |
| **10****20****30****40****50****60****70****80****90****100****110****120****130****140** | 【まとめ】〇活動のふりかえり。〇感謝の気持ちを伝える。【ニッパーボード】〇ニッパーボードを使用し、海を楽しむ。【サーフ・サバイバル】〇ライフジャケットの着用の仕方を確認し、自分で着用できるようにする。〇浮かんだり、泳いだりしながら、自分の身は自分で守る意識をもつ。〇〇～休憩～〇〇〇〇〇〇【ビーチラン＆ウェーディング】〇砂浜や海中を移動しながら、砂、水の感覚を味わうとともに、セルフレスキューを意識する。【かげふみおにごっこ】〇体を動かしながら、仲間と触れ合い、心をほぐす。〇準備運動として、体をほぐす。〇〇【避難訓練】〇津波フラッグを紹介し、海で津波フラッグを見かけたら、直ぐに避難すること。また、避難場所を確認することを理解する。実際に避難場所まで移動する。〇〇【オリエンテーション】〇自己紹介を通して、お互いを知る。（バディーの確認） |

**＜提出用＞ジュニアライフセービング教室　指導案**

|  |  |
| --- | --- |
| **日時** |  |
| **場所** |  |
| **対象/人数** |  |
| **指導者** |  |
| **JLAのねらい** | **水辺活動における楽しさの中から、自然や人との関わりあいを学び、相互理解かたの命の大切さを実感することによって、たくましく豊かな人間形成をめざす。** |
| **クラブのねらい** |  |
| **使用器材・****教具** | クラブの創意人との関わり合い |
| **展開** | 命の大切さ楽しさ |
| **10****20****30****40****50****60****70****80****90****100****110****120****130****140** |  |